

第二阪和国道

〔国道26号〕

第二阪和国道は、大阪と和歌山を結ぶ幹線道路であり、国道26号の慢性的な交通渋滞やそれによる都市機能の低下を解消することを目的とした約53kmの道路です。

昭和38年に事業化した堺市堺区翁橋町～阪南市自然田の約32.8km区の間は、昭和58年までに4～6車線で完成供用しました。

その後の交通量の増加に伴い、昭和63年度に阪南市自然田～岬町淡輪区間を事業化して、平成15年度に阪南市自然田～箱作ランプ間を、平成16年度には箱作ランプ～箱ノ浦ランプ間を、平成23年3月には箱ノ浦ランプ～淡輪ランプ間をそれぞれ暫定2車線で供用しました。

和歌山市内では、平成15年度に和歌山市大谷～元寺町間を全線完成4車線で供用（JR立体交差点を除く）しました。

さらに平成17年度に岬町淡輪～岬町深日の区間を事業化し、平成19年度には岬町深日～和歌山市大谷の区間を事業化しました。

今後事業化区間が供用することにより、国道26号の渋滞解消、沿道地域における緊急車両の走行時間短縮、交通の信頼性の向上に寄与することが期待されます。

計画諸元

道 路 名	国道26号 第二阪和国道
事 業 区 間	阪南市自然田～和歌山市元寺町
延 長	20.6km
道 路 規 格	第1種第3級及び第3種第1級
車 線 数	本線4車線 側道2車線※
設 計 速 度	本線80km/h（暫定60km/h） 側道 阪南（40km/h）と和歌山（50km/h）

（※側道は阪南市自然田～同市石田間の平地部に設置、及び和歌山市大谷ランプ～栗ラン間の平地部に設置）

第二阪和国道全体図



事業経緯

昭和62年度	岬町都市計画決定（昭和63年2月29日） 阪南市域、和歌山市域都市計画決定（昭和63年3月30日）
昭和63年度	事業化（阪南市自然田～岬町淡輪、和歌山市大谷～元寺町）
平成2年度	用地買収着手（和歌山市大谷～元寺町）
平成5年度	用地買収着手（阪南市自然田～阪南市箱作）
平成6年度	地域高規格道路計画路線指定
平成7年度	地域高規格道路整備区間に指定（阪南市～岬町淡輪、和歌山市大谷～元寺町）
平成8年度	工事着手（阪南市域、和歌山市大谷～元寺町）
平成15年度	自然田～箱作ランプ間暫定供用（平成15年4月） 和歌山北バイパス全線供用【JR立体交差点を除く】（平成15年4月） 用地買収着手（阪南市箱作～岬町淡輪）
平成16年度	箱作ランプ～箱ノ浦ランプ間暫定供用（平成16年6月） 地域高規格道路整備区間に指定（岬町淡輪～岬町深日）
平成17年度	事業化（岬町淡輪～深日）
平成18年度	工事着手（阪南市箱作～岬町淡輪） 地域高規格道路整備区間に指定（岬町深日～和歌山市大谷）
平成19年度	事業化（岬町深日～和歌山市大谷）
平成21年度	平井ランプ（仮称）都市計画変更（平成22年3月30日）
平成22年度	孝子ランプ都市計画変更（平成23年1月6日） 箱ノ浦ランプ～淡輪ランプ間暫定供用（平成23年3月26日） 用地買収着手（岬町淡輪～深日）
平成23年度	用地買収着手（岬町深日～和歌山市大谷） 工事着手（岬町淡輪～深日）（和歌山市平井～大谷）

